



## 防災 早急に、 防災行政無線の 整備を

「私の視点」  
「FMたまむら」に町から割り込み放送できる環境を構築し、個別受信機として緊急告知FMラジオを順次増やしていくことが、防災行政無線整備の最短かつ最善の策ではないか。

答弁（環境安全課長） 今年度中に取り組み7年度には着手したい

問 総務省消防庁から、各市町村に防災行政無線の整備を推進するとの通知がきていると思うが玉村町は整備されているのか。

答（環境安全課長） 多様な災害情報を全ての住民に伝達するために市町村防災行政無線（同報系）を整備するように求められている。玉村町では現在、その他の様々な情報伝達システムで対応していると回答した。国のほうが、さらに強化してきて、いつまでに整備するのか等の調査がきている。

問 全国市町村1741団体のうち未整備は69団体であり、群馬県は3団体、伊勢崎市、藤岡市、玉村町である。伊勢崎市は令和6年度に、FMラジオを使ったシステム改修、災害情報ラジオ等を予算化している。藤岡市も検討が進んでいるようだ。玉村町はどうなっているのか。

答（環境安全課長） 町として従来は、メルたま、たまボイスで補完できると考えていたが、国から強く求められている状況から、防災ラジオを使った伝達システム等の導入を検討しなくてはいけないと考えている。

答（町長） 玉村町も昨年、担当課が消防庁のヒアリングを受けている。伊勢崎市、藤岡市の対応を受けて対応しようとしていた。

問 令和6年度の予算確保が必要だったのではないかと。

答（環境安全課長） 基本的に導入を前提に研究していた。消防庁の整備に係る費用、緊急防災・減災事業債は令和7年度まで起債が可能に

なっている。今年度中に取り組み、7年度には着手したい。

問 伊勢崎市では、FM電波を使うのが一番よいと判断したのではないかと。整備手法としてFM電波を利用したシステムが一番安そうだ。玉村町としても、ラヂオななみをみんなに聞いてもらうように努力するのは当然だが、緊急告知ラジオの支給等を通じて、防災行政無線の整備を進めてもらいたい。町長の意気込みをお願いする。

答（町長） そのつもりで整備を考えている。

### こんな質問もしています

- ・町ホームページの作成手順及び管理・運用について
- ・メール配信システム「メルたま」の発信実績について
- ・災害情報一斉伝達・収集システム「たまボイス」の管理・運用について



防災行政無線整備のために、拠点のひとつとして新たな役割が求められるラヂオななみ



## 交通 登下校時、児童 生徒の公共交通 利用は可能か

「私の視点」  
夏場、気温が40度に迫る下校時。長距離を歩く児童の健康や命を守るため、登下校時にデマンドバスを利用できるよう、新たな制度を整えるべきだ。

答弁（町長） 希望すれば公共交通の利用は可能である

問 登下校時に、小中学生が体調を崩すことがあるため、保護者が迎えにいけないときには、デマンドバスや路線バスなどの公共交通を利用することは可能か。

答（町長） 令和6年度中の導入を目指しているデマンドバスなどの公共交通を利用することは可能である。ただし、事前に通っている学校に報告・相談をしていただきたい。

### 子ども安全協力の家

問 児童が困ったときに助けを求められることができる「子ども安全協力の家」について「知らない・どこにあるか分からない」といった声が聞かれる。町は十分な周知を行っているか。

答（教育長） 以前から学校にはお願いしているが、今後は、必要に応じて生涯学習課と学校教育課及び各学校がより連携をして周知の一層の工夫に努めていきたい。

問 「子ども安全協力の家」は、手を挙げてくれた町民の善意である。子供たちにその善意を伝え、PTAや先生の手を借りながら子供たちが「地域安全マップ」を作ることはできないか。

答（学校教育課長） 毎年学校で、地域ごとに集会を開いて通学路の危険箇所の確認をしている。「子ども安全協力の家」を含めた安全マップを活用した安全教育ができるか検討したい。

### こんな質問もしています

- ・「こども第三の居場所」の確保について

### 玉村町における災害時の対応

問 災害時、一人で避難することが困難な身体や視覚・聴覚に障害のある方のために、一目見て手助けが必要と分かるようなバンダナなどを配布する考えはないか。

答（環境安全課長） 町民が逃げ遅れないよう研究しながら考えていきたい。



茨川市で配布された黄色いバンダナ  
一目見て要支援者に寄り添うことができる取組

問 町が主体となって地区防災計画の策定をしたらどうか。

答（環境安全課長） 区長に働きかけながら、なるべく全ての区で地区防災計画を作っていただけるようお願いしていく。

問 町の防災担当者がすぐに変わってしまう。専門の担当者を長く置くことはできないか。

答（町長） 防災について、担当部署に行けば町民のニーズに的確に対応できる人材、窓口を確保していく。

